

■西日本研修センタ公開講座の実施結果について

1.はじめに

西日本研修センタでは、総務省主催の平成30年度「情報通信月間（5月15日～6月15日）」に合わせ「ICTでつなげる、ひろがる明るい社会」をテーマに、ICTの普及促進等に向けた取組紹介、通信設備の体感・見学等で構成した公開講座を下記により実施しました。

2.実施概要

- (1) 講座名 「電気通信設備見学」 サブテーマ「安全・安心・信頼」
- (2) 実施日 平成30年6月5日（火）
- (3) 参加者数 17名 （専門学校講師・教育事業関係・情報通信メーカー・近隣住民等）
- (4) 内容

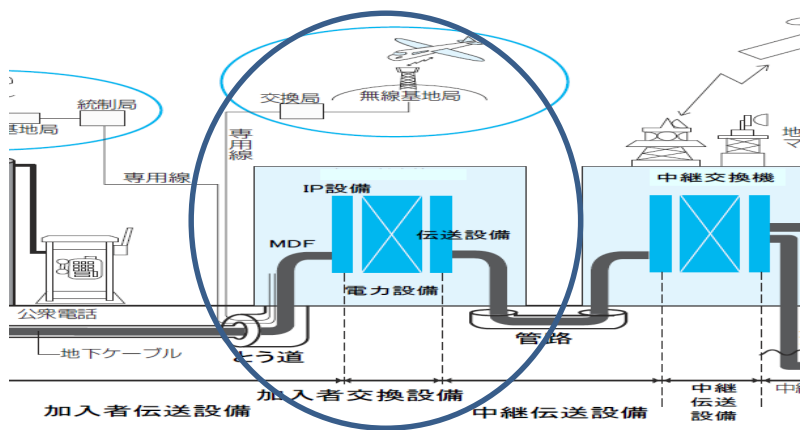
i.電気通信設備の見学概要

NTT西日本様の「良き企業市民が果たす役割」として地域と一体になり積極的かつ継続的に、社会活動を推進していくとのNTT西日本様の「安全・安心・信頼」「次世代ネットワークのつながる仕組み」等を理解していただくことを目的に「通信設備見学」として実施。

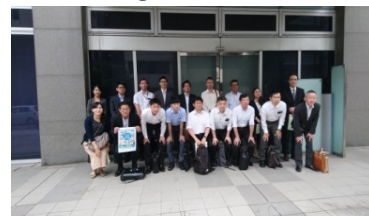
ii.通信設備の体感・見学

NTT交換ビル内での現在運用中である通信設備（IP設備・伝送設備・MDF・交換設備・電力設備）の役割と、通話やインターネット等が正確に遠くまで伝達し、大規模災害時等でも通信を維持できる信頼性を確保している状況を、現地、現物により見学とした。

- (1) IP設備…光ファイバーが布設されたお客様宅に、通話やインターネット等ができるようにする設備
*通信技術の変遷も併せて説明(磁石式からIP電話まで)
- (2) 伝送設備…音声やデータを正確に遠くまで伝達出来るような信号に変換する設備
- (3) MDF設備…現在の光通信と異なる従来の電話系での交換機と屋外に張り巡らされている通信ケーブルとの接続設備
- (4) 電力設備…電気通信設備に安定した電力を供給する設備やバックアップ設備



①オリエンテーション模様



②参加者集合写真

3.参加者の主な感想等

- 通信設備の歴史が短時間で知ることが出来た。
- 普段意識していなかった設備がいかにして生活の役に立っているか通信の幹の部分の崩れないよう責任をもって対応、配慮されているんだと改めて認識しました。
- 災害時等、不足の事態でも、安心・安全なことが分かった。
- データの冗長設備や電力を自家発電する設備に驚愕しました。
- <要望等>
- 次回も見学等があれば参加したい。
- 見学の前に各設備の説明時間がもっとあればわかりやすかったと思います。
- 電柱の上にはどういうルールで何が配線されているか、家庭内の光ネットワーク機器の動きなど知りたい。

4.おわりに

見学・説明を通じて、情報通信設備について、理解をいただくとともに大規模災害時等に対する通信設備の信頼性また、情報通信エンジニアリング協会の「安心・安全・信頼」への取組についてもPRすることが出来ました。次年度はアンケート結果等を参考に、インパクトのある内容で計画していきます。